花の素顔（1949）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1949/11/08

【解説】
舟橋聖一の原作を斎藤良輔が脚色し渋谷実が監督した。離婚の危機を迎えた夫婦の姿を描く。
蓼麻美子は銀座で洋裁店を経営し、家計を支えていた。才色兼備の麻美子は社交界でも評判で、画家の緒山や政治家の大垣などと付き合いがあった。緒山は麻美子の夫の真吉と古い友人で、かつては二人で麻美子を取り合ったりした。しかし今は芸術に夢中であり、麻美子も夫の真吉を愛していた。しかし緒山と麻美子の仲についての噂が立ち、真吉もその噂に心が揺らぎ始めていた。真吉は洋裁店を勝手に売ってしまい、その金でアトリエを購入。再び絵筆を取ることにした。麻美子に関する悪い噂が日に日に増え、ついに彼女は家を飛び出してしまうのだった。

【クレジット】
監督 渋谷実
製作 小出孝
原作 舟橋聖一
脚本 斎藤良輔
撮影 長岡博之
音楽 服部良一
出演 木暮実千代
折原啓子
佐分利信
若原雅夫
岡田英次 Eiji Okada

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.